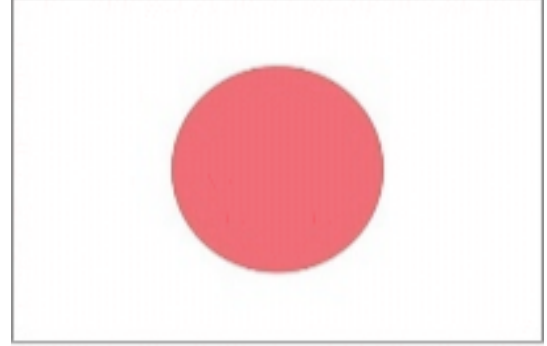
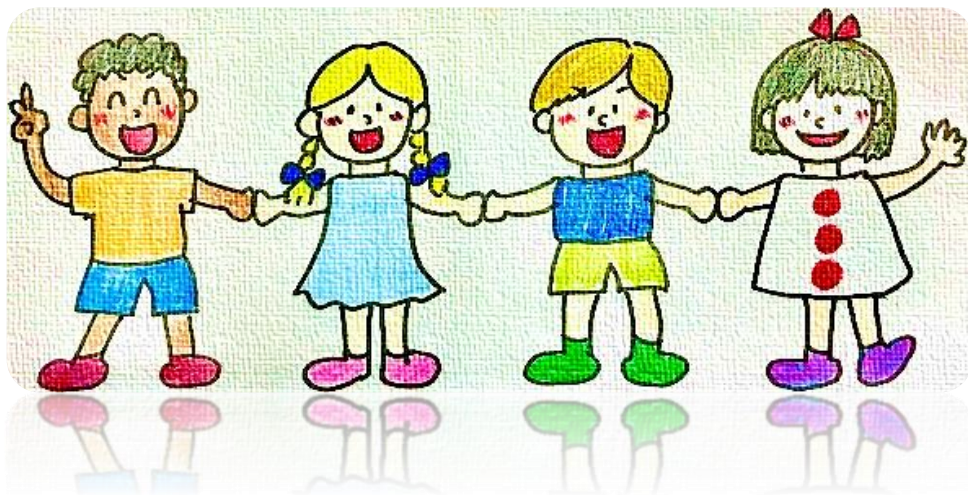




ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会 活動報告書



「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」とは・・・

連日の悲惨なウクライナのニュースを受けて、福島高校の在校生・卒業生の有志メンバーのネットワークを結成し、福島高校の他、地元の小中学校などに協力を呼び掛け、UNICEF「ウクライナ緊急募金」のための募金活動を行いました。

団体名 : 「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」
メンバー : 福島高校の卒業生と在校生の有志 計 13 名
募金を行った対象 : 福島高校、福島県北の小中学校、塾 計 12 校
福島高校同窓生の方々など
募金先 : UNICEF「ウクライナ緊急募金」

◆動機◆・・・戦闘により今までの当たり前を奪われ、学び舎や友達からも引き離されてしまったウクライナの子供達のことを考えると、同じ学生として心が痛みました。チェルノービリ（チェルノブイリ）原発事故の経験による、東日本大震災後のウクライナからの復興支援や交流に恩返ししたい思いもあり、「私達も何かしたい！」と考えたのが、子どものための基金である UNICEF への募金呼び掛けでした。

◆募金のテーマ ・ これまでの経緯◆・・・私達の募金活動の大きなテーマは、募金額の多さよりも、福島県の一人でも多くの子ども達に、「何かのために役立ちたい！」という思いを持ってもらうことです。福島の子供達も、ただニュースを見ているだけでなく、起きていることを自分事と捉えて関心を持ち、行動するきっかけを作りたいと思いました。

有志メンバーの母校や繋がりのある小中学校などで募金を呼び掛けることを決定し、活動を共に行う有志メンバーを募ると、たちまち沢山の有志が集まりました。協力を呼び掛けるうちに協力校の輪はたちまち広がり、嬉しいことに、なんと福島高校と小中学校、塾の合わせて 12 校が、募金に参加してくれました。各協力校では、それぞれ生徒会や JRC 委員会などが募金を熱心に呼び掛けてくれ、なんと総額 62 万円を超える浄財が集まりました。

いったいこの私達の募金呼び掛けに、福島の何千人の子供達が関わり、ウクライナのことを考えてくれたのでしょうか。そして予想を超えた大きな広がり、発展があり、胸が熱くなりました。福島でウクライナ支援の輪が大きく広がったこと、非常に嬉しくありがたく思っております。

目次

1. ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会とは??
2. ごあいさつ
3. 実施要項
4. 各学校の児童・生徒向けのチラシ
5. 福島県ユニセフ協会に提出した募金額の表
6. UNICEF ウクライナ緊急募金にご協力くださった皆さま
7. 各学校へのお礼のポスター
8. 活動記録
9. 活動の記録写真
10. 新聞記事等
11. 活動を振り返って… 有志メンバーたちの思い
12. 団体概要

ごあいさつ

この度、私達「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」の募金活動にご協力くださった皆さま、活動を激励してくださった皆さま、本当にありがとうございました。

2月24日にロシアのウクライナ侵攻が始まり、私達がウクライナの子ども達のために何ができるかと考え動き始めたのは、3月初頭のことでした。そして始動した「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」の募金活動には、福島のみんなの思いがぎっしりと詰まって、なんと総額62万円を超える募金が集まりました。いったい何千人の子ども達がこの募金に関わり、ウクライナのことを考えてくれたのでしょうか。各小中学校に募金協力を依頼するために集まった福高在校生・卒業生の有志メンバー、その依頼に応じて校内で熱心に募金を呼び掛けてくれた各学校の生徒会や JRC 委員会、代表委員会などの皆さん、お小遣いから募金してくれた皆さん、数え切れない沢山のまごころが結集して、日々の活動は感動そのものでした。

小中学校の募金箱を回収するために伺った際、児童・生徒から受けた全ての言葉は、簡単な言葉に思えて非常に重く、忘れられないものとなりました。「ウクライナの子ども達が助かることを願いながら募金を呼び掛けた」、「ウクライナの子ども達のために、しっかり届けてほしい」。この募金活動は、ウクライナ緊急募金をきっかけに、一人でも多くの福島の子ども達に、世界の問題を自分事として捉えて関心を持ってほしいという思いから動き出したものでしたが、各学校での短い募金受領式の時間は、この募金が実際に福島の数千の子ども達の願い・夢・希望を詰め込んだものとなったことを実感した瞬間でした。「ああ、本当にこの募金には子ども達の色々な思いがぎっしり詰まっているんだな。」そう思うと、私達が子ども達から託されたのは、単なる募金ではなくこの思いの全てであると強く感じ、身が引き締まる思いがしました。

今回、「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」として活動したことで、一人ひとりの力は小さくても、それが集まればこんなにも大きな力になることを、私達は身をもって学ばせて頂きました。ご協力くださった全ての皆さま、激励してくださった全ての皆さまに、厚く御礼申し上げます。

お世話になった皆さまに活動のご報告をし、また自分達の活動の記録を残すため、この「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会 活動報告書」の小冊子をまとめました。目を通して頂ければ幸いです。

「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」の有志一同は、福島のみんなの思いが詰まった募金がウクライナの子ども達のもとに届き、皆が当たり前のように学校で勉強したり、友達と笑ったり、そんな平和の日々を一刻も早く取り戻すことができるよう、心よりお祈りしております。

ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会
代表 太田朝弓（福高72回卒）

【実施要項】

ウクライナの子ども達を助けたい!ユニセフのウクライナ緊急募金にご協力をお願いします!

福島高校 在校生・卒業生有志「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」

代表:太田朝弓(福島高校 72 回卒)

この度、私達は福島高校の在校生・卒業生の有志で「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」のネットワークを結成し、ウクライナの子ども達のために、UNICEF「ウクライナ緊急募金」の募金呼び掛けを行います。

当たり前に通っていた学校から引き離されてしまったウクライナの同世代の子ども達のことを想像すると、何もできずにニュースを見ている自分が歯がゆくなります。同世代の子ども達が、大好きな学び舎や教育に復帰するための一助となりたい、福島県民として、少しでも東日本大震災時の世界からの復興支援に恩返しをしたい、そのような思いから私達にできることを考え、ウクライナ緊急募金の呼び掛けを行うことといたしました。

私達は、募金の金額を多くすることよりも、福島の一入でも多くの子ども達がウクライナのための募金に参加することを目指しています。そして、ウクライナ緊急募金への参加を契機に、より多くの子ども達が、ウクライナの人々の気持ちを想像し、ニュースで見る国際的な問題を自分事として捉えて関心を持ってくれたなら、大変に嬉しいと思っております。

〈募金呼び掛け活動 実施要項〉

○募金先:UNICEF「ウクライナ緊急募金」

集めた寄付金は、ウクライナの子どもとその家族を支援するための募金である UNICEF(国連児童基金)の「ウクライナ緊急募金」に全額募金します。

○贈呈先:福島県ユニセフ協会

国連の定める「著しい人権侵害に関する真実に対する権利と犠牲者の尊厳のための国際人権デー」である 3 月 24 日に、福島県ユニセフ協会にて贈呈式を行い、UNICEF「ウクライナ緊急募金」にお納めします。

○募金の実施スタイル

コロナ禍のため、子ども達との直接の接触は控え、各生徒に配布するチラシで募金を呼び掛けます。
お忙しいところとは思いますが、学校に最もご迷惑をお掛けしない形式に従いますので、どうぞご協力をお願いします。

○募金の実施期間:3月 23日(水)まで。

卒業・終業の時期で恐縮ですが、3 月 24日頃に募金箱の回収に伺いたく思っております。

○ご協力依頼の対象

- ・福島高校
- ・有志メンバーの母校である小学校や中学校
- ・福島高校の OB・OG、有志メンバーの関わりのある機関など

○実施報告の手段

- ・新聞等のメディア
- ・回収金額、協力学校・団体名など詳細は、お礼の文書と福島高校同窓会ホームページでご報告予定。

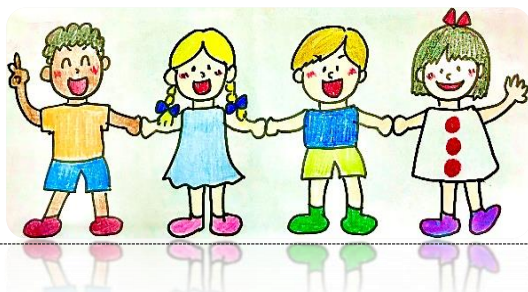
私達自身、まだまだ未熟であり、国際社会の問題についてもっともっと勉強していかなくてはなりません。
若輩の私達が募金協力をお願いしますこと、とても恐縮ではありますが、なにとぞ、ご協力をよろしくお願いします!!

連絡先:fukuko.wakamono2022@gmail.com

福島高校同窓会ホームページ内で、

「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」について掲載されています。

福島高校同窓会 HP: <https://baienkai.org/>



ウクライナの子ども達を助けたい！ ユニセフのウクライナ緊急募金にご協力をお願いします！

福島高校 在校生・卒業生有志「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」

みなさん、こんにちは！！

今、ウクライナが大変なことになっているのを、ニュースでみなさんも知っていると思います。「難民」となって、大好きなお家や家族と離れて、国外に逃げなければならなくなった人の数は、どんどん増えていて、福島県の人口よりもずっとずっとながらなっています。

そんなウクライナの子ども達のために、なにか役に立ちたいと思いませんか？

ユニセフのウクライナ緊急募金は、ウクライナの子どもとその家族を支援するためのものです。

みなさんに、ぜひユニセフのウクライナ緊急募金に協力してもらいたいと思います。小さな力でもウクライナのためによいことができたなら、本当にすてきだと思っています。募金は1円でも10円でもいい、100円ならもっとありがたいし、500円ならもっと役立ちます！募金額はみなさんにおまかせします。

東日本大震災の時ウクライナは、チョルノービリ(チェルノブイリ)原発事故の経験を活かして、福島を色々な形で支援をしてくれていたと聞きます。次は私達が、ウクライナの同世代の子ども達が大好きな学び舎や教育に復帰するために役立ちたい、そして震災11年を迎えるこの3月に、世界へ復興支援の恩返しをしたい、そのように思います。

私達「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」は、有志メンバーの母校の小中学校に募金協力をお願いし、福島の一人でも多くの子ども達にウクライナへの募金に参加してもらうことを目指しています。そしてウクライナ緊急募金への参加が、みなさんがウクライナの人々の気持ちを想像したり、ニュースで見る国際的な問題に関心を持ったりする、そんなきっかけになったならば、大変に嬉しいと思っています。

ウクライナの子ども達のために、ユニセフ「ウクライナ緊急募金」に、ご協力をよろしくお願いします！！

○募金先:ユニセフ「ウクライナ緊急募金」

ウクライナの子どもとその家族を支援するための募金である UNICEF (国連児童基金) の「ウクライナ緊急募金」に全額募金します。

○贈呈先:福島県ユニセフ協会

国連の定める「著しい人権侵害に関する真実に対する権利と犠牲者の尊厳のための国際人権デー」である3月24日に、福島県ユニセフ協会にて贈呈式を行い、ユニセフ「ウクライナ緊急募金」にお納めします。



「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」

連絡先: fukuko.wakamono2022@gmail.com

福島高校同窓会ホームページ内で、

「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」について

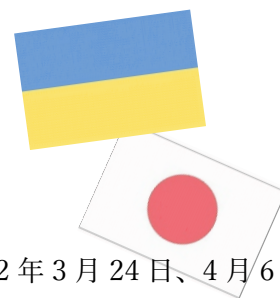
掲載されています。

福島高校同窓会 HP: <https://baienkai.org/>

UNICEF ウクライナ緊急募金
「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」

募金総額 **¥626,567**

但し UNICEF「ウクライナ緊急募金」として



福島県ユニセフ協会への贈呈日：2022 年 3 月 24 日、4 月 6 日

<金額内訳>

学校名	募金受領日	担当受領者	金額
二本松市立 二本松南小学校	2022 年 3 月 18 日	太田朝弓 下田佳苗	
福島市立大森小学校	2022 年 3 月 18 日	常盤詩織 小川夏穂	
二本松市立 二本松第一中学校	2022 年 3 月 22 日	太田朝弓 下田佳苗	
二本松市立東和中学校	2022 年 3 月 22 日	太田朝弓	
二本松市立安達中学校	2022 年 3 月 23 日	太田朝弓 佐藤輝	
福島市立福島第一中学校	2022 年 3 月 24 日	及川優奈 佐久間亜紀	
福島市立杉妻小学校	2022 年 3 月 24 日	佐久間亜紀 及川優奈	
桑折町立釀芳中学校	2022 年 3 月 24 日	市川葵子 吾妻緋色	
福島市立庭坂小学校	2022 年 3 月 24 日	菅原涼成	
福島県立福島高校	2022 年 3 月 24 日	星若奈 及川優奈	
総合学習室アビリティ (福島校、仙台校)	2022 年 4 月 4 日	星若奈	
福島高校同窓生の方々、 福島県内の方々	2022 年 3 月 18~28 日	太田朝弓	
合計			626,567 円

上記の金額をお納め致します。



「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」

代表：太田朝弓

卒業生リーダー：太田朝弓、卒業生副リーダー：菅原涼成

在校生リーダー：及川優奈、星若奈

UNICEF ウクライナ緊急募金にご協力くださった皆さま

福島県立福島高校の皆さま

福島市立福島第一中学校の皆さま
二本松市立安達中学校の皆さま
二本松市立二本松第一中学校の皆さま
二本松市立東和中学校の皆さま
桑折町立醸芳中学校の皆さま

福島市立大森小学校の皆さま
福島市立杉妻小学校の皆さま
福島市立庭坂小学校の皆さま
二本松市立二本松南小学校の皆さま

総合学習室アビリティの皆さま

福島高校同窓生の方々
福島県内の方々

皆さまからの温かなご協力に、
心より感謝申し上げます。

【各学校へのお礼のポスター】

ご協力くださったみなさん！！

きんきゅうぼきん
ウクライナ緊急募金に、ステキなまごころを、
ありがとうございました！！！！

ウクライナの子どもたちのための募金、ユニセフ「ウクライナ緊急募金」にご協力いただき、
本当にありがとうございました。募金を呼びかけてくださったみなさん、
募金してくださったみなさん、ウクライナについて考えてくださったみなさん、
全員に、心から心からお礼申し上げます。

みなさんの募金は、ユニセフ「ウクライナ緊急募金」として
福島県ユニセフ協会におくります。

みなさんからの募金は、
ウクライナの子どもたちとその家族の支援のためにとても役立ちます。

わたしたちには、できることがたくさんあります！
大変な思いをしているウクライナの子どもたちに心を寄せること、
世界のニュースに関心を持つてみることで、
小さな一歩でも、踏み出すことで、
わたしたちの願いは世界に通じるものと信じています。

これからも、平和な環境で学校に通えることのありがたみを感じながら、
お勉強、運動、いろいろなことをがんばってください！

みなさん、本当にありがとうございました ♡

2022 年 3 月

ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会 一同

連絡先: fukuko.wakamono2022@gmail.com

福島高校同窓会ホームページ内で、

「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」について掲載されています。

福島高校同窓会 HP: <https://baienkai.org/>



ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会 活動記録

2022.2.24 ロシアによるウクライナ侵攻が開始。

2022.3.3 卒業生リーダーと在校生リーダー、「私たちには何ができる?」と相談を始める。

当初は活動内容として、街頭募金なども検討。

2022.3.8 小中学校と福高での募金呼び掛けという活動内容が決定。

2022.3.9 小中学校に募金呼び掛けご協力をお願いを開始。

2022.3.10 有志メンバーの募集も始める。

2022.3.15 この日以降、続々と各学校で募金活動が開始される。

2022.3.18 二本松南小学校と大森小学校で募金受領式の第一号。

2022.3.21 大学教授による「ウクライナ戦争を考える」の特別講義を開催。

2022.3.22 有志メンバーが13名となる。

二本松第一中学校、東和中学校で募金の受領式。

2022.3.23 安達中学校で募金の受領式。

2022.3.24 国連の定める「著しい人権侵害に関する真実に対する権利と犠牲者の尊厳のための国際人権デー」

福島第一中学校、醸芳中学校、杉妻小学校、庭坂小学校で募金の受領式。

その後、福島民報社にて、福島県ユニセフ協会会長に活動のご報告と贈呈式。

2022.4.6 最後まで募金を続けて頂いた総合学習室アビリティで、募金箱が回収される。

2022.4.6 福島県ユニセフ協会にて、「追加分」の募金額お納めのため、贈呈式。

2022.4.8 ご協力頂いた方々への活動報告スタート。

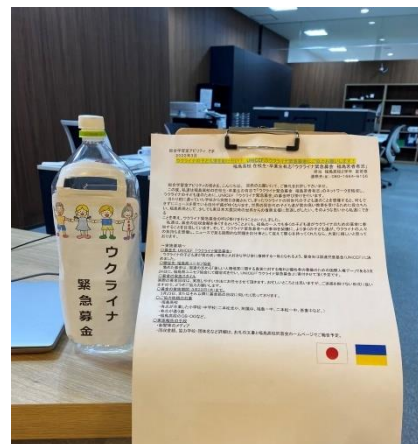


△2022年3月 26 日 福島民友 4 面「ひと」



△杉妻小学校の募金風景

一日だけの募金運動で、通常の募金の倍以上の金額が集まったとうかがいました。



△総合学習室アビリティでの募金の様子

▽福島第一中学校の募金受領式。

終業式で、全校生の前でお話をする機会も設けて頂きました。



△福島第一中学校では、なんと募金を
11 万円以上も集めて下さったのです!!

▽2022年3月25日 福島民報19面「ふくしまは負けない明日へ」

国連の定める「著しい人権侵害に関する真実に対する権利と犠牲者の尊厳のための国際人権デー」である3月24日に、福島民報社にて、福島県ユニセフ協会の芳見弘一会长（福島民報社社長）に、ご報告と贈呈式を行いました。

子ども達からの募金の総額が60万円余りにまで及んだことに、とても感激して下さいました。

2年（令和4年）3月25日（金曜日） 福 島 民 報

ふくしまは負けない明日へ

題字は島村丸之亮君（二本松市・東和小4年）

ウクライナ支援 福島高有志が 60万円余寄付
県ユニセフ協に 10校から浄財

福島市の福島高卒業生と在校生の有志でつくる「ウクライナ緊急募金福島高校若者有志の会」は二十四日、福島高や県内の小中学校合わせて十校から寄せた募金を、高OBで代表の太田朝

芳見会長に浄財を手渡す（左2人目から）太田さん、及川さん、佐久間さん、鈴木さん、菅原さん

弓（さゆみ）さん（二〇）お茶の水女子大二年生が芳見弘一会长（福島民報社社長）に手渡した。太田さんは「これほどたくさんの方の浄財が寄せられるとは思わなかった。一人の力は小さくても大きな力になることを身をもって感じた」と語った。芳見会長は「皆さんの活動に感動した。日本ユニセフ協会を通じて被災地に届けたい」と述べた。

同校OBの菅原涼成さん（二〇）北海道教育大二年生、在校生でいずれも二年の鈴木想耶さん（二〇）及川優奈さん（二〇）佐久間亜紀さん（二〇）も同席した。



△2022年3月24日 福島民報中央テレビ「ゴジてれChu」



▽贈呈写真では小さな募金箱を手渡していますが、実際に皆さまからお預かりした募金が入っているのは、こちらの特大の段ボール箱です！60万円余分の小銭は、非常に非常に重たいものでした！



◁ 4月6日、贈呈式第2弾へ

諸事情により募金の回収が3月24日の贈呈式に間に合わなかった塾などがあったため、それらの募金額を「追加分」として改めて福島県ユニセフ協会に贈呈しました。

活動を振り返って… 有志メンバーたちの思い

♡ 私はウクライナで戦争が始まった時からこの出来事に関心を抱き、今まで何も知らなかったウクライナとロシアについて学ぶことを始めました。多くのことを学び現状を理解するにつれて、私も何か役に立ちたいと思うようになりました。同じ地球に住む人々が苦しみ、恐怖の中にいるというのに、自分は何もできないでいるということがとてももどかしかったのです。そんな時に代表の太田さんに声をかけていただいて始まったのが今回の募金活動でした。実際に活動が始まると、大人の責任者がいない有志団体であることで信頼を得ることが難しく、何もかも1からのスタートで分からないことも多く、様々な困難が立ちはだかりました。しかし、学生のうちからボランティアとして国際協力をしたいと考えていた私にとって、今回の経験はとても大切なものとなりました。福島高校の先生方にもご協力していただき、なんとか募金活動を始めることができたときの達成感は今でもはっきりと覚えています。私が担当した福島高校では、募金活動だけでなくウクライナについて考えるきっかけになるような企画も考え、実行することができました。私たちの募金活動をきっかけに多くの福高生がウクライナに心を寄せてくれた事、とても嬉しく思います。高校生でもできることはある!と実感できた、素晴らしい経験となりました。今回の募金活動は終わりを迎えましたが、まだまだ私たちができることはあると思っています。それを考えるのもとても大切なことです。今回の経験を糧に、これから大人になっても国際協力に携わり世界中の人々の幸せを守ることをできるようになりたいです。募金活動に参加して下さった福島のみなさんに心から御礼申し上げます。(星若奈)

♡ 私は福島一中を担当させて頂きました。受領式の時、生徒の皆さんの姿や頂いた募金のずっしりとした重さから、ウクライナの子供たちの為に少しだとしてもなにか力になりたいという思いが、ぎゅーと詰まった募金なのだとひしひしと感じました。実は、福島一中で集まったお金はこの活動全体でも最大のものです。こんなにも沢山の募金をいただいたと聞いた時、驚くと共に皆さんの思いに感動し、一緒に考えて行動に移せたことがとても嬉しかったことは忘れられません。本当にありがとうございました。今回ご協力いただいたことは、私にとっても考えてきたことを行動に移せるんだという大きな励みになりました。(及川優奈)

♡ 活動に参加した機会は少なかったのですが、実際に受領式に立ち会い、私自身もウクライナへの思いが強くなるのを感じました。貴重な経験をさせていただきとても感謝しています。(小川夏穂)

♡ テレビやニュースを見て自分は平和に暮らしているのに、どうしてウクライナの子供たちは毎日死と隣り合わせに生きているのかと思っていました。そして、何もできない自分に憤りを感じていました。しかし、この活動を通して一人一人の力は小さいけれど、合わせれば大きな力になるということを身をもって感じる事ができました。1人でも多くの命が助かり、早くウクライナに平和が戻ってくることを願っています。(鈴木想耶)

♡ このような募金活動に参加したのは初めてだったため、中学校への電話やメールの送り方など、わからないことだらけで大変でしたが、色々な方のアドバイスや支えのおかげで、自分のすべきことに、全力を尽くすことができました!この活動で集めた募金が、少しでもウクライナの子供達のために役立てられたらいいなと思いました!(市川葵子)

♡ 学校などで当たり前のように行われていた募金活動が実は多くの人により支えられていて、実行するのとても大変だということが分かって、自分にとって新鮮な経験でした。また、たくさんの学校が突然のお願いの上に、忙しい時期であるのに、募金活動に協力してくださり、とてもありがたかったです。(常盤詩織)

♡ 募金回収のみの参加となりましたが、多くの方々が現状について思っていることがあり、多くの人々がその思いを募金として、この企画の運営として携わってくださっていたことに感銘を受けました。(吾妻緋色)

♡ 自分一人ではなかなかできない経験だったので、お声をかけていただいたことが本当に光栄です。自分たちの募金が少しでもウクライナの人々の力になればいいなと思いました。また、協力してくれた生徒や先生方の思いやりの気持ちや助け合いの精神が募金額などからよく伝わってきて感動しました。(佐藤輝)

♡ 今回、ウクライナ緊急募金福島高校若者有志の会に参加させていただきました。杉妻小学校様に募金のお願いをしました。生徒さん向けの動画を撮影しました。すると、いつもの募金よりも倍以上集まっているという話を伺いました。ウクライナのことに関心を持っている人が多いことに驚くと同時に、自分が少しでもみんなの関心を高められたかもしれないことが、とても嬉しく感じました。中には、お父さん、お母さんと僕の方!と家族分の募金をしてくださった方もいるとお聞きました。家族で話し合ってくれたのだと嬉しく思いました。また、福島高校では、お昼に SMAP の triangle という曲を流し、友達とこの戦争について話し合う時間を設けました。普段重い話をしない間柄だからこそ、お互いの意見を交換することで、この出来事が身近であると自覚すると同時に、考えを深めることが大切だと考えたからです。今回の主な活動は募金でしたが、それよりも国際問題について関心を深めてもらうことを重点とし活動を行いました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。(佐久間亜紀)

♡ 今回有志として活動させていただいて、小中学生、そして高校生たちの温かい気持ちに触れることができました。少しでも多くの子供たちにウクライナの人々へ関心を持ってもらうきっかけとなればよいと考えていましたが、そうした思いを募金としてウクライナの人々に届けることができ、非常に嬉しく思います。期間も短く、急なお願いにも様々な形を取ってご協力いただいた全ての学校に心から感謝申し上げます。この募金を通して、ウクライナの子供たちが少しでも早く日常を取り戻せることを祈っています。この度はウクライナ緊急募金にご協力いただき、ありがとうございました。(菅原涼成)

♡ 距離的にも遠く、普段あまり考えない他国のことを、自分事のように考えるきっかけになった。また、ウクライナに限らず世界に目を向けていきたいと思った。(下田佳苗)

♡ 正直、前まで私はウクライナとロシアの問題についてあまり深く知らず、関心があるとは言えませんでした。しかし、関係のないウクライナの人々が戦争に巻き込まれているという事実だけは見過ごすことは出来ず、この活動のお誘いが来たとき、自分にも何かできるかもしれないと感じ、私はこの活動に参加しました。最終的に多くの人の協力のおかげで、60 万円以上の寄付金が集まったことを知ったとき、私は一人ひとりが行動することによってとても大きな成果を出すことが出来るということをまさに実感しました。この活動に参加して本当に良かったと思います。そして、一刻も早くウクライナに平穏な日々が訪れることを心からお祈りします。(松元康志)

【団体概要】

「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会」

この団体は、ロシアのウクライナ侵攻のニュースを受けて、ウクライナの子ども達のために役に立ちたいと考えた福島高校の在校生と卒業生の有志によって、緊急結成されたグループです。

代表：太田朝弓（おおたさゆみ、福島高校 72 回卒、お茶の水女子大学 2 年）

卒業生リーダー：太田朝弓

卒業生副リーダー：菅原涼成（すがわらりょうせい、福島高校 72 回卒、北海道教育大学 2 年）

在校生リーダー：及川優奈（おいかわゆうな、福島高校 2 年）

星若奈（ほしわかな、福島高校 2 年）

連絡先：fukuko.wakamono2022@gmail.com

構成員：16 歳～20 歳の有志メンバー 現在 総勢 13 名

（福島高校の卒業生 4 名、在校生 9 名）

太田朝弓（福高 72 回卒、お茶の水女子大学在学）

菅原涼成（福高 72 回卒、北海道教育大学在学）

松元康志（福高 72 回卒、福島大学在学）

下田佳苗（福高 71 回卒、東北大学在学）

星若奈（福高 2 年）

及川優奈（福高 2 年）

佐久間亜紀（福高 2 年）

佐藤輝（福高 2 年）

鈴木想耶（福高 2 年）

常盤詩織（福高 2 年）

吾妻緋色（福高 2 年）

小川夏穂（福高 2 年）

市川葵子（福高 1 年）

※学年は、会を発足した 2022 年 3 月のもの。



福島高校の皆さま

東和中学校の皆さま

福島第一中学校の皆さま

安達中学校の皆さま

二本松南小学校の皆さま

杉妻小学校の皆さま

協力してくださった全ての方々

激励してくださった全ての方々

**まごころのご協力を
本当にありがとうございました**

庭坂小学校の皆さま

二本松第一中学校の皆さま

福島高校同窓生の方々

福島県内の方々

醸芳中学校の皆さま

総合学習室アビリティの皆さま

大森小学校の皆さま

「ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会 活動報告書」

発行日：2020 年4月6日

文責：太田朝弓

有志メンバー一同、協力して下さり温かな言葉を掛けて下さる皆さまのお陰で、多くの学びと喜びを経験することができました。福島と福島の人々が大好きです。全てに、心から感謝申し上げます。（太田）

ウクライナ緊急募金 福島高校 若者有志の会